

千葉県立柏の葉高等学校

「新書読書」の推進

1 学校の紹介

柏の葉高等学校は、最寄駅「柏の葉キャンパス駅」の名前が示すように、東京大学柏キャンパス、千葉大学環境健康フィールド科学センターに隣接した学園都市に位置している。平成19年に県立高等学校再編計画第二期実施プログラムの一環として、千葉県立柏西高等学校（昭和61年創立）と千葉県立柏北高等学校（昭和55年創立）とが統合して誕生した。校舎は旧・柏西高等学校のものを使用している。現在1学年7クラス2学年3学年は8クラス、うち各学年1クラスが情報理数科でほかは普通科である。本校の特色ともなっている情報理数科は、東京情報大学・日本大学・東京大学・慶応大学・東京電機大学との高大連携をはじめとして、ユニークな授業がたくさんある。高大連携の授業や近隣の東京大学や千葉大学の施設見学などは普通科の生徒たちも参加できるので、身近に大学を感じることでできる高校だといえる。行事等の特色としては文化祭（双葉祭）でのミュージカルであろうか。毎年3年生はほぼ全クラス（一部映画のときも）ミュージカルでの発表となる。しかも「レ・ミゼラブル」や「キャッツ」「オペラ座の怪人」など大作が目白押しになる。コーラスやダンスも一生懸命練習をし、中にはプロ顔負けのソロを披露する生徒もいる。

本校の校訓は

自立 自己の能力を発見し、自己を確立すること

創造 自ら学び、自ら考え、新しいものを創り出すこと

飛躍 目標実現に邁進し、希望溢れる未来に向けて羽ばたくこと

であるが、この「自ら学び、自ら考え、新しいものを創り出す」の実現に向けて、今年度は授業改革に取り組んでいる。ユニバーサル・デザインの発想を取り入れた授業展開、そして生徒の主体的な活動を取り込んだアクティブ・ラーニング型の授業を増やす取り組みである。

2 自校の図書館の現状

蔵書数	19,332冊
入館者数	5,671人（昨年度5,659人）
生徒への貸し出し冊数	830冊（昨年度706冊）
授業利用	72時間

本校の図書館は図書部の運営とはなっていない。図書担当職員は情報教育部に属し、校内LAN・校内コンピュータ・視聴覚機器・放送設備の保守・管理、成績処理システムの管理・芸術鑑賞会の企画・運営なども担当している。従って部員7名のうち図書業務に直接携わっているのは、実習助手（図書館担当）と司書教諭2名である。また司書教諭はプログラムができることから成績処理システム（本校独自システム）の開発者であり、今年度

は新教育課程の調査書発行の年なので、成績処理システムの改訂に追われている。

3 読書活動推進の取組

(1) 生徒や教員に対する支援

- ① 毎年学年において、新入生ガイダンスの一環として、図書館のオリエンテーション（1クラス25分）を実施している。
- ② 定期的に新刊案内を発行し、クラス掲示、職員配布をしている。「図書だより」に、図書委員が新刊紹介をすることもある。
- ③ 図書館において新刊図書を紹介するスペースを設け、ディスプレイに工夫をしている。平置きよりも少し斜めの方が目に入りやすいということで、斜めに展示するための台（写真A）を用意している。実はこの台、印刷機の前紙を巻いてあった芯のロールである。かなりしっかりした紙でできていて、何か使えないだろうかと考えていたところでの廃物利用である。2つか3つを繋ぎ合せて使っているが、そのままだと転がってしまうので、端の部分に切り込み（写真B）を入れてある。ポップも適宜つけているが、ポップを支えているボード（写真C）は使っていない書架サインの廃物利用である。



(2) 図書委員会活動

通常の図書貸出業務、図書整理のほかに以下の活動を行っている。

① 東京大学柏図書館への施設見学会

図書委員の図書館運営に対する意識を高めるために、毎年近隣の東京大学柏図書館への施設見学会を行っている。本校に転勤してしばらくたったとき、情報理数科の東京大学施設見学会に参加する機会があった。そこで東京大学柏図書館を実際に見せていただき、ぜひ図書委員会にも見せたいと考えお願いしたところ、快く引き受けていただいた。東大図書館は2F閲覧室の開架式書架のほかに、全館吹き抜けの自動化書庫（写真D）を持っている。100万冊収蔵規模の書庫で閲覧個室のPC検索によりほんの数分で目的の本が運ばれてくる。ふだん見ることができない図書館職員の裏の仕事なども見せていただき、大いに刺激をいただいている。

② デコパネを使っての館内表示の製作

6月の面談週間を使って図書委員の校内研修として、図書館で使える館内表示をデコパネで作る研修をしている。できた作品（写真E）はそのあと図書館で使っている

ので、生徒の反応も良い。

(3) 学習等に関する支援

毎年家庭科の調理実習の最後は、自由献立の授業である。そのためのメニュー作りを図書館で行っている。そのための書籍（写真 F）も充実させるようにしている。ほかにも国語表現、古典講読などで、図書館を使った授業をしていただいているが、まだまだ数多くとはいえない。アクティブ・ラーニングとも絡め、各教科でより多くの新しい授業展開をしていただくことは今後の課題である。



(4) 「新書読書」の推進

今回図書館活性化の方策として取り組んだのは、「新書を読む」ということの推進である。このことに取り組む背景としては、国語科の何人かの先生が授業の最初 10 分間を「読書の時間」として読書指導をしているということがある。だから本校では休み時間に忙しげに図書館に駆け込み、本を借りていく生徒がいる。

ところで、「読書の時間」指導の経緯であるが、司書教諭が前任校で実践していた先輩教員から教えを受け始めたことに端を発している。その学校は学習が苦手な生徒が多い学校でありながら真剣に読書に取り組んでいる生徒たちを目の当たりにして興味を持った。その先輩教員から「読書の時間」の取り組みについて書かれた本を何冊か貸してもらい、そのノウハウを授業に取り入れた。

授業ですときのポイントとしては、

- ① 自分の選んだ本を読んでいいけれども、雑誌・まんが・文字の全くない写真集のようなもの、また進路関係のパンフレットなどは禁止。時間中は机間巡視をして必ず、本を持ってきているか、ちゃんと読んでいるかをチェックする。本を持ってきていないもの、読んでいないものには平常点が下がることを告げる。
- ② 折に触れて「読書」の効用を説く。読解力の向上、集中力を養える、進学就職面談の際に気のきいた書名をあげられる……など

それ以降、図書室に足を運ぶ生徒が増えたと実感することができ、どんな本を読んだらよいか相談されたり、本の話で盛り上がったということも経験するようになった。授業などでも、授業に関連した本を紹介するとその本を借りに来たり、買って読んでいる生徒などもいた。そこで個人的に読んでよかった本を紹介するというようなことも機会を増やした。

柏の葉高等学校に転勤をし2年生の担任をしているとき。本校は進学校で大学進学を希望する生徒が多いにもかかわらず、漫然と大学進学と考えてはいるものの、学部や学科まで明確にヴィジョンが描けている生徒が少ないと感じ始めた。また文書の抜き出しや選択問題は得意なものの、自分の考えを持ったり自分のことばで説明するということが苦手だということも。そこで進路に目を向けさせるため、いろいろな考え方から自分なりの考えを持てるように、そして論理的思考に慣れさせるため、3学期からは、自分の進路にかかわる「新書」を読むようにと、「読書の時間」の本を制限してみた。時期的にも進路のことが気になっていたということもあるだろうが、3年になるころには自分の進路が明確になってきた生徒が多くなったと感ずることができた。

次の年2年を担当し、1学期は制限なしの「読書の時間」そして2学期からは「新書」限定でやってみた。幸いなことにその学年と共に持ち上がることもできたのであるが、授業の点でもいろいろ考える力がついたり実感できた。さらに話し合いや発表というような授業をした際に、自分たちの意見を持っていたり、自分の読んでいた新書の内容を友だちに紹介して考えるヒントにするような生徒も出てきた。また推薦入試などの小論文指導では、過去問の小論文を書かせる際に、参考になる本をまず見つけさせ、その本の内容を利用して小論文を書くというような指導をすることができた。またその過去問から今年の出題を予想させたりというようなことも。試験結果に対しても確かな手応えを感じることができた。

現在1年を担当しているが、2学期からは「新書」を取り入れている。今年はアクティブ・ラーニングを心がけているということもあり、グループ学習や1分間スピーチなどでも自分の考えをもつという態度はできてきているように感じ、1年生からでも「新書」読書は有効であると実感している。

「新書」読書の効用は整理してみると

- ① 本を選書する際に、自分の興味や自分の特性に向き合うことになり、自分の進路を考えるきっかけになる
 - ② 授業では取り上げられないような長い論理的な文書を読むことによって、思考を迫る持久力のようなものが養える
 - ③ いろいろなひとの考え方に触れる中で自分の考え方や、また好み・傾向のようなものが生まれてくる
 - ④ 入試の面接・小論文においては、自分の専門（希望学部・学科）に対する知識を増やすことができるので、その知識を有利に活かすことができる
 - ⑤ 大学・短大においては課題として出されるレポートに取り組む際、利用できる書籍を探し出す力は非常に重要であるが、そういう選書する力を養える
- というようなことがあげられる。

司書教諭から、授業で読む本を相談されたとき話を聞いてうまく勧められるときもあるが、自分もすべてのことに通じているわけではないので返答に困るときがある、もしいろいろな分野について定番の新書、おすすめの新書がリストアップされていれば助かるというような話があった。そこで本校図書館オリジナルのおすすめ新書リストを作ったらどうかということをおもいついた。今回校長から教えていただき、参考にさせていただいた資料

「中等教育資料平成27年⑩特集 読書指導の推進と学校図書館の活用」にも、読書に対する意識調査の中で「読書をしない理由」として「読みたいと思う本がない」ということがあがっていると、報告されている。いざ読もうとしてもそれにふさわしい本を見つけれない、またふさわしい本に出会えなかったことで読書意欲を失っていく生徒が多いのではないかと思った。そこで初めての「新書読書」に適した本を提示できないか考えた。リストアップをするためにいろいろアイディアを出し合った。

A ネットや書籍で勧めている新書をピックアップする

B 先生方に協力を要請する

高校にはそれぞれの教科の専門家がいるのであるから、その分野では定番となるような新書、また入門用になる新書などをご存じのはずである。また先生方にこういう取り組みをしていることを知っていただくことにより、授業中に本の話題を出してもらったり、図書室にあるから読んでごらんとか勧めていただくようなこともあるかもしれない。

C 実際に「読書の時間」に新書を読んでいる生徒たちに聞いてみる

司書教諭の受け持っている3年生は、「図書館のポップを作る」という授業をした。おすすめの新書の説明、図書館用のポップを生徒たちに書いてもらう。もうすでに読み終わり返却してしまっている本を取り上げる生徒もいるので、図書館で授業をする。図書館には検索用のコンピュータも4台用意されているので、貸し出し中の本をすすめる生徒はネットで内容を確認していた。また1年生には冬休みの課題として「図書館のポップを作る」のレポートを課し、3学期最初の授業はそのレポートをもとに1分間スピーチをした。

アイデアAを実行する中で「久我山高校：新書の100冊」というものに出会った。このリストはよくできているということで、このリストを土台として本校の実情に合わせて本を差し替えるような方向を考えてみた。従っていろいろな分野の新書100冊をリストアップすることを目指すことにした。

そしていよいよ「おすすめ新書」の選定作業に入るのだが、まず本校には新書が何冊あるか、把握しようということになった。実は本校の書誌データは、柏西高等学校・柏北高等学校2校が合併したことにより書誌データの形式が整合性がとれていない。また古い書籍は登録データが少ない。これは書誌データ電子化の際に、それ以前の書籍のデータは必要最小限にとどめ全書籍の電子化を最優先に進めた結果だと思われる。全書籍の電子化ができていなければ、コンピュータを使った貸出が難しいから、これは当然のことだと思われるが、遑ってデータ入力を行うことは非常に労力を要する。以上のような事情から最近の書籍には新書の記述があるが、古い本ではどのような本であるのかデータはない。また新書の記述も書名の中にあるので、新書だけをデータ抽出するのは難しい。このことを司書教諭に相談したところ、うまい方法を考えてくれた。このような問題を抱えている図書館は多いと思うので、少し詳細に述べておきたい。

- ① まずエクセルを搭載しているノート・パソコンとバーコード・リーダーを用意する
- ② エクセル上（新書シート）で新書の登録番号をバーコードで読み取っていく（ノート・パソコンを利用することにより、新書コーナーの本をわざわざ PC のところへ運ぶ必要がなくなる）
- ③ 違うシート（蔵書シート）に CASA から CSV 形式で出力した蔵書データ（すべてのデータを出すことが望ましい）を張り付ける
- ④ 新書の登録番号と蔵書データの登録番号を照合し、合致した場合は新書の登録番号に続くデータを蔵書シートからコピー&ペーストするプログラムをかく
- ⑤ 実行（新書の数にもよるが 1000 冊ぐらいなら、あっという間に終わる）
プログラム及びプログラムの組み込み方は後述（添付資料 II）

なお作業は実際の本がないとできないので、貸し出し中だった新書が戻ってきた CASA での処理のほかに新書シートにどんどん登録番号を収録するようにした。

また登録番号の重複を取り除くプログラムも作ったので、入力したかしないか神経質になる必要はなかった。

登録番号とともに ISBN データもバーコードに続けて入力すれば、その ISBN データを使って、ネットから書誌データを検索してコピー&ペーストをすることもできる。CASA 上でデータ編集するよりエクセル上で行う方がはるかにしやすい。

結果本校には約 1000 冊の新書があることが明らかになった。またこの新書データにより、貸し出し数の多い新書も判明した。このデータは最終的に新書を絞り込むための参考データとした。またこの新書のデータにアイデア C の生徒のおすすめデータを重ね合わせてみた。このような作業を通して感じたことは「久我山高校：新書の 100 冊」に多くリストアップされている岩波新書は、本校の生徒の初めて読む新書としてはふさわしくないということであった。そこで大まかな方針として次のようなポイントを決め、なるべくそのポイントをおさえるべく選書していった。

- ・読みやすさを第一に考える（例えば岩波新書よりは岩波ジュニア新書を薦める。）
- ・同一作者の本は入れない（読みやすさを考えると池上彰の本が数多くリストアップされそうであった。しかし紹介するならいろいろな著者を紹介したほうがよいと考えた。もちろん生徒が気に入ってその作者のものを読み続けていくことはかまわない。多様な生徒たちが、そのように気に入った著者と出会えるように数多くの著者を紹介したほうがよい。また一作者一作品と考えると、定評のある著者を満遍なく入れるという視点で選書できる。そしてこの著者ならこの作品という風に考えることもできる。）
- ・評判だけではなく実際に本にあたる（結局この部分に多くの時間がかかった。）

選書の詳細な過程は省くが、数々のポイントを総合的に考えて、添付資料 I のような「柏の葉高校おすすめ新書 100（入門編）」が完成した。「久我山高校：新書の 100 冊」には、[自分を見つめる] など項目ごとになっているが、どの本も多面的なものであるから、そ

ういう項目は外した。しかし「自分を見つめる」→「職業」→「社会」のように一冊一冊のつながりをグラデーションのように配列した。

4 成果と課題

現在「柏の葉高校おすすめ新書 100 (入門編)」を、新年度オリエンテーションで使うために準備中である。在校生には春休みの読書用に配付し、卒業生には卒業式に合わせ配付する予定である。

今回のリストを作る中で、これに続くいろいろな分野の定番本をリスト化するというアイデアも起こってきた。しかしこれは入門編からいろいろ読み進めた生徒たちの意見をフィードバックして作りたい気がする。そういう意味での本校生徒の新書読書の成熟を期待したい。またこの入門編リスト自体、今後の貸出数の増加や、アイデアCをさらに進化させた授業の展開などにより実際にこれらの本を読んだ生徒たちの意見をフィードバックさせる形で改訂していくことが大事だと感じており、そのような改訂に図書委員会が何かの形で関わればという希望も持っている。

またこのリストが多くの方の授業にも活用され、いろいろなご意見をいただけるものになることを願っている。願わくば、図書館を使った発展的学習の契機になることを。

参考資料

- ・中等教育資料平成27年⑪特集 読書指導の推進と学校図書館の活用
「これからの読書指導と学校図書館の活用に関する方向性」秋田喜代美
- ・久我山高校：新書の100冊 (<http://www.kugayama-j.ed.jp/osi/tosyo/koushin.htm>)
- ・Benesse 2015年度小論文推薦図書一覧(進路指導部に送付された資料)
- ・MEIDAI BOOK NAVI 2013
＜3・11以降＞を生きるための3冊 明大出版会

添付資料I「柏の葉高校おすすめ新書 100 (入門編)」

- 1 私とは何か ― 「個人」から「分人」へ (平野啓一郎) 講談社現代新書
- 2 中学生からの哲学「超」入門―自分の意志を持つということ (竹田青嗣)
ちくまプリマー新書
- 3 アドラー博士に学ぶ悩まないコツ (植西聰) ロング新書
- 4 気にしすぎ症候群 (伊東明) 小学館新書
- 5 悩む力 (羹尚中) 集英社新書
- 6 劣化する日本人 (香山リカ) ベスト新書
- 7 大人になるっておもしろい? (清水真砂子) 岩波ジュニア新書
- 8 弱虫で良いんだよ (辻信一) ちくまプリマー新書
- 9 間抜けの構造 (ビートたけし) 新潮新書

- 10 大学で大人気の先生が語る〈失敗〉〈挑戦〉〈成長〉の自立学 (佐藤剛史)
岩波ジュニア新書
- 11 ファッション・ライフのはじめ方 (高村是州) 岩波ジュニア新書
- 12 レンアイ、基本のキー好きになったらなんでもOK? (打越 さく良)
岩波ジュニア新書
- 13 東大卒プログラマー—論理は結局、情熱にかなわない (ときど) PHP 新書
- 14 修業論 (内田樹) 光文社新書
- 15 「教養」とは何か (阿部謹也) 講談社現代新書
- 16 女のカラダ、悩みの9割は眉唾 (宋美玄) 講談社+α新書
- 17 理系女子的生き方のススメ (美馬のゆり) 岩波ジュニア新書
- 18 女子のキャリア 〈男社会〉のしくみ (海老原嗣生) 岩波ジュニア新書
- 19 なんにもないけどやってみた プラ子のアフリカボランティア日記 (栗山さやか)
岩波ジュニア新書
- 20 職人を生きる (鮫島敦) 岩波ジュニア新書
- 21 音のない世界と音のある世界をつなぐ—ユニバーサルデザインで世界をかえたい!
(松森果林) 岩波ジュニア新書
- 22 光が照らすデザイン 照明デザインの仕事 (石井幹子) 岩波ジュニア新書
- 23 「消せるボールペン」30年の開発物語 (滝田誠一郎) 小学館新書
- 24 ふるさとを元気にする仕事 (山崎亮) ちくまプリマー新書
- 25 音楽家をめざす人へ (青島広志) ちくまプリマー新書
- 26 医療の限界 (小松秀樹) 新潮新書
- 27 看護師という生き方 (宮子あずさ) ちくまプリマー新書
- 28 就活のまえに一良い仕事、良い職場とは? (中沢孝夫) ちくまプリマー新書
- 29 負けてたまるか! 若者のための仕事論 (丹羽宇一郎) 朝日新書
- 30 たくらむ技術 (加地倫三) 新潮新書
- 31 会社とはなにか (奥村宏) 岩波ジュニア新書
- 32 動物を守りたい君へ (高槻成紀) 岩波ジュニア新書
- 33 目と耳と足を鍛える技術—初心者からプロまで役立つノンフィクション入門
(佐野眞一) ちくまプリマー新書
- 34 しあわせに働ける社会へ (竹信三恵子) 岩波ジュニア新書
- 35 ブラック企業 日本を食いつぶす妖怪 (今野晴喜) 文春新書
- 36 18歳の著作権入門 (福井健策) ちくまプリマー新書
- 37 キヨミズ准教授の法学入門 (木村草太) 星海社新書
- 38 中高のための憲法教室 (伊藤真) 岩波ジュニア新書
- 39 政治のキホン100 (吉田文和) 岩波ジュニア新書
- 40 政治の教室 (橋爪大三郎) PHP 新書
- 41 ぼくらの民主主義なんだぜ (高橋源一郎) 朝日新書
- 42 選挙ってなんだ? —最年少政令市長が提案する制度改革 (熊谷俊人)
ワニブックスPLUS新書
- 43 行政ってなんだろう (新藤宗幸) 岩波ジュニア新書

- 44 金融がやっていること (永野良佑) 岩波ジュニア新書
- 45 食い逃げされてもバイトは雇うな 禁じられた数字 〈上〉 (山田真哉) 光文社新書
- 46 池上彰のニュースの学校 (池上彰) 朝日新書
- 47 社会の真実のを見つけかた (堤未果) 岩波ジュニア新書
- 48 人間の安全保障 (アマルティアセン) 集英社新書
- 49 原発を考える50話 (西尾漢) 岩波ジュニア新書
- 50 コンビニファミレス回転寿司 (中村晴彦) 文春新書
- 51 地球経済のまわり方 (浜矩子) ちくまプリマー新書
- 52 地図で読む「国際関係」入門 (眞淳平) ちくまプリマー新書
- 53 だから日本はズレている (古市憲寿) 新潮新書
- 54 イラクの戦場で学んだこと (岸谷美穂) 岩波ジュニア新書
- 55 国際関係がわかる本 (原康) 岩波ジュニア新書
- 56 ヒロシマ、ナガサキ、フクシマ 原子力を受け入れた日本 (田口ランディ)
ちくまプリマー新書
- 57 被爆アオギリと生きる 語り部・沼田鈴子の伝言 (広岩近広) 岩波ジュニア新書
- 58 日本の宗教 (村上重良) 岩波ジュニア新書
- 59 パスタでたどるイタリア史 (池上俊一) 岩波ジュニア新書
- 60 グローバリゼーションの中の江戸 (田中優子) 岩波ジュニア新書
- 61 日本語教室 (井上ひさし) 新潮新書
- 62 日本語のニュアンス練習帳 (中村明) 岩波ジュニア新書
- 63 ビブリオバトル (谷口忠大) 文春新書
- 64 多読術 (松岡正剛) ちくまプリマー新書
- 65 今こそ読みたい児童文学100 (赤木かん子) ちくまプリマー新書
- 66 はじめての文学講義：読む・書く・味わう (中村邦生) 岩波ジュニア新書
- 67 詩のこころを読む (茨木のり子) 岩波ジュニア新書
- 68 古典を読んでみましょう (橋本治) ちくまプリマー新書
- 69 漢詩のレッスン (川合康三) 岩波ジュニア新書
- 70 西洋音楽史―「クラシック」の黄昏 (岡田暁生) 中公新書
- 71 超ジャズ入門 (中山康樹) 集英社新書
- 72 アニメ！リアルvs. ドリーム (岡田浩行/武井風太) 岩波ジュニア新書
- 73 荒木飛呂彦の奇妙なホラー映画論 (荒木飛呂彦) 集英社新書
- 74 GANTZなSF映画論 (奥浩哉) 集英社新書
- 75 美術館へ行こう (草薙奈津子) 岩波ジュニア新書
- 76 ルールはなぜあるのだろうスポーツから法を考える (大村敦志) 岩波ジュニア新書
- 77 「遊ぶ」が勝ち―『ホモ・ルーデンス』で、君も跳べ！ (為末大) 中公新書ラクレ
- 78 アスリートたちの英語トレーニング術 (岡田圭子/野村隆宏) 岩波ジュニア新書
- 79 英語多読法 (古川昭夫) 小学館101新書
- 80 英語辞書を使いこなそう (浜野実) 岩波ジュニア新書
- 81 児童文学を英語で読む (百々佑利子) 岩波ジュニア新書
- 82 完全独学！無敵の英語勉強法 (横山雅彦) ちくまプリマー新書

- 83 読み上手書き上手 (齋藤孝) ちくまプリマー新書
- 84 考える力をつける論文教室 (今野雅方) ちくまプリマー新書
- 85 論理的に解く力をつけよう (徳田雄洋) 岩波ジュニア新書
- 86 高校生からのゲーム理論 (松井彰彦) ちくまプリマー新書
- 87 これも数学だった!?: カーナビ、路線図、SNS (河原林健一) 丸善ライブラリー
- 88 つまづき克服! 数学学習法 (高橋一雄) ちくまプリマー新書
- 89 「研究室」に行ってみた。(川端裕人) ちくまプリマー新書
- 90 いま、この研究がおもしろい (岩波書店編集部) 岩波ジュニア新書
- 91 科学的とはどういう意味か (森博嗣) 幻冬舎新書
- 92 星のかけらを採りに行く 宇宙塵と小惑星探査 (矢野創) 岩波ジュニア新書
- 93 新・天文学入門: カラー版 (嶺重慎/鈴木文二) 岩波ジュニア新書
- 94 ロボットとは何か一人の心を映す鏡 (石黒浩) 講談社現代新書
- 95 挑戦する脳 (茂木健一郎) 集英社新書
- 96 インフルエンザ21世紀 (瀬名秀明) 文春新書
- 97 進化とはなんだろうか (長谷川真理子) 岩波ジュニア新書
- 98 生物と無生物のあいだ (福岡伸一) 講談社現代新書
- 99 i P S細胞 (黒木登志夫) 中公新書
- 100 理系アナ榎太一の生物部な毎日 (榎太一) 岩波ジュニア新書

添付資料II「新書の登録番号と蔵書データの登録番号を照合するプログラム」

このプログラムは、「新書シート」B11から下に続く登録番号を読みとり、「蔵書シート」の同じ登録番号(B列)のデータ(B列からZ列まで)を、「新書シート」にコピー&ペーストするプログラムである。

プログラムの入れ方

- ① Excelのメニューの「表示」→「マクロ」→「マクロの記録」で左クリック
- ② 「マクロの記録」画面が出るので、「マクロ名」を「検索S」と入力
「ショートカットキー」を「s」と入力(*sは大文字にしない)
[ショートカットキーを入力するとCtrlとsを押すことにより実行してくれる]
「OK」する。
- ③ シートに戻るのでA1をクリック
- ④ 再び「表示」→「マクロ」→「記録終了」
[実はこの②でOKしてから、この作業をするまでしたことはすべて記録される。どんな命令をしているのか知りたかったら、「マクロの記録」を試してみるとよい]
- ⑤ このあと「表示」→「マクロ」→「マクロの表示」で「マクロ」画面を出し、「検索S」をクリックして、「編集」をクリック
- ⑥ 下記(枠内)のような画面が出るので、
' Keyboard Shortcut: Ctrl+s から End Sub

までの間を下記プログラムと同じに書き換える。

*各行はエンターで入力すること

(エンターをしないと繋がっているとみなされ、命令にならない)

ただし Selection.PasteSpecial Paste:=xlPasteValues, Operation:=xlNone,
SkipBlanks _:=False, Transpose:=False の部分は一行で入力し最後にエンター

- ⑦ 入力がすんだら「×」で終了。プログラム完了。
- ⑧ 「蔵書シート」に蔵書データをコピー&ペースト (ただし登録番号は B 列)
「新書シート」には B 列に抽出したい登録番号をバーコードなどで入力
「新書シート」の C1 に蔵書数 (多めに入れて大丈夫)
C2 に新書数 (多めに入れて大丈夫) を入力すること。

```
Sub 検索 S0
'
' Macro1 Macro
' Keyboard Shortcut: Ctrl+s
'
    Dim HMZ           'How Many Zosho
    Dim HMS           'How Many Sinsho
    Dim NOS(10)       'Name Of Sheet
    Dim SD(5000)
    NOS(1) = "原簿"   '移動元のシート名
    NOS(2) = "新書"   '移動先のシート名

    Sheets(NOS(2)).Select
        HMZ = Range("C1").Value
        HMS = Range("C2").Value
        For I = 1 To HMS
            SD(I) = Cells(I + 10, 2).Value
        Next I
        For I = 1 To HMS
            Sheets(NOS(1)).Select
            For J = 1 To HMZ
                If Cells(J, 2).Value = SD(I) Then
                    Range(Cells(J, 2), Cells(J, 26)).Select
                    Selection.Copy
                    Sheets(NOS(2)).Select
                    Cells(I + 10, 2).Select
                    Selection.PasteSpecial Paste:=xlPasteValues, Operation:=xlNone,
                        SkipBlanks _
                        :=False, Transpose:=False
                    GoTo N
                End If
            Next J
        Next I
    N:
        Range("C11").Select
        Application.CutCopyMode = False
        Sheets(NOS(2)).Select
        Range("C11").Select
        Application.CutCopyMode = False
End Sub
```